

調査結果の概要

1 要 旨

平成17年産主要果樹の結果樹面積は23万400haで、前年産に比べ2,400ha（1%）減少した。

これは、西洋なし、おうとう及びうめで新植や改植されたものが結果樹齢に達し増加したものの、他の品目で老木園の廃園等があったことにより減少したためである。

収穫量は350万4,000t、出荷量は309万3,000tで、前年産に比べてそれぞれ24万2,000t（7%）、22万3,000t（8%）増加した。

表1 平成17年産主要果樹の結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量

品 目	結果樹面積	10a当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	前 年 産 対 比 (%)			
					結果樹 面 積	10a当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量
1) 計	230 400	...	3 504 000	3 093 000	99	...	107	108
み か ん	51 500	2 200	1 132 000	1 005 000	98	108	107	107
な つ み か ん	3 540	1 740	61 700	53 600	97	86	84	83
は っ さ く	2 690	1 910	51 400	43 500	97	91	89	89
い よ か ん	6 830	1 580	108 000	96 600	95	86	82	82
ネーブルオレンジ	1 050	1 250	13 200	10 900	94	98	92	92
り ん ご	40 800	2 010	818 900	724 100	99	110	109	109
日 本 な し	15 200	2 380	362 400	333 000	98	113	110	111
西 洋 な し	1 760	1 830	32 300	28 500	102	133	135	137
か び	23 700	1 210	285 900	230 800	100	124	123	125
わ	1 890	356	6 730	5 380	97	107	104	106
も も	10 300	1 690	174 000	160 400	100	115	115	115
す も も	3 130	857	26 800	23 300	100	99	99	99
お う と う	4 380	436	19 100	16 900	105	111	116	117
う め	17 800	690	123 000	105 100	103	105	108	110
ぶ ど う	19 000	1 160	219 900	200 800	99	108	107	107
く り	23 800	92	21 800	14 800	98	93	91	89
2) パインアップル	3) 443	2 350	10 400	10 100	100	91	90	91
キウイフルーツ	2 560	1 420	36 400	30 000	98	128	125	128

注：1)計は、18品目の合計である。

2)パインアップルは、沖縄県のみの数値である。

3)パインアップルは、収穫面積である。

2 解説

(1) みかん

ア 結果樹面積

結果樹面積は5万1,500haで、老木園の廃園があったこと等から前年産に比べて800ha(2%)減少した。

イ 10a当たり収量

10a当たり収量は2,200kgで、中国、四国、九州を中心に少雨により果実肥大が抑制されたものの、台風等の被害も少なく結果数が多かったこと等から前年産を8%上回った。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は113万2,000t、出荷量は100万5,000tで、前年産に比べてそれぞれ7万2,000t(7%)、6万8,500t(7%)増加した。

都道府県別にみた収穫量割合は、和歌山県及び愛媛県がそれぞれ全国の17%、静岡県が12%、熊本県が9%となっており、この4県で全国の約6割を占めている。

図1 みかんの結果樹面積及び収穫量の推移

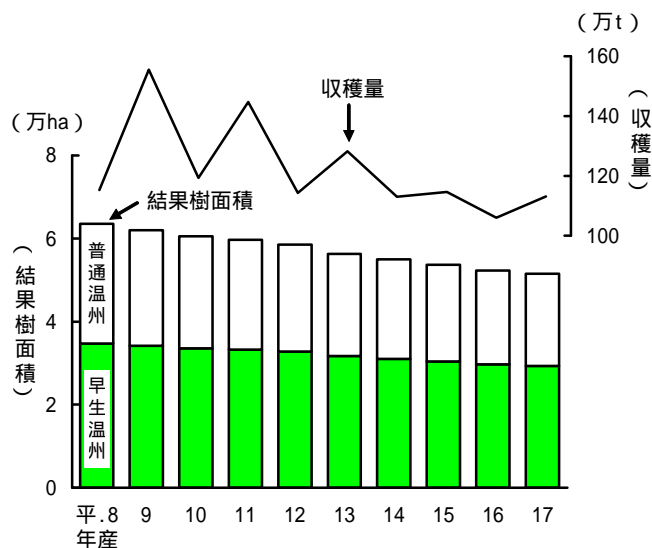


図2 平成17年産みかんの都道府県別収穫量割合

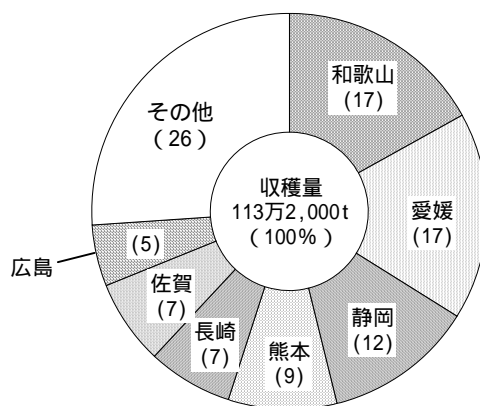


表2 平成17年産みかんの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量

品目・品種	結果樹面積	10a当たり収	収穫量	シェア	出荷量	前年産対比(%)			
						結果樹面積	10a当たり収量	収穫量	出荷量
みかん	ha	kg	t	%	t				
みかん	51 500	2 200	1 132 000	100	1 005 000	98	108	107	107
早生温州	29 300	2 310	675 400	60	610 000	99	109	108	109
うち、ハウスみかん	1 100	4 560	50 000	4	47 300	95	97	92	92
極早生みかん	9 250	2 080	192 500	17	174 100	99	105	104	104
普通温州	22 200	2 060	456 300	40	394 900	98	107	105	105

(2) なつみかん

ア 結果樹面積

結果樹面積は3,540haで、老木園の廃園等から前年産に比べて100ha(3%)減少した。

イ 10a当たり収量

10a当たり収量は1,740kgで、果実肥大期の少雨により果実の肥大が抑制され小玉傾向となったこと等から前年産に比べて14%下回った。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は6万1,700t、出荷量は5万3,600tで、前年産に比べてそれぞれ1万2,100t(16%)、1万700t(17%)減少した。

都道府県別にみた収穫量割合は、熊本県が全国の24%、愛媛県が18%、鹿児島県が15%となっており、この3県で全国の約6割を占めている。

図3 なつみかんの結果樹面積及び収穫量の推移

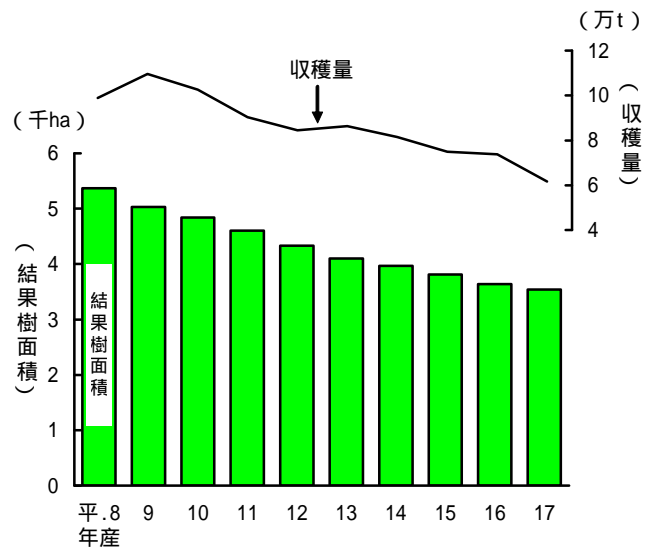


図4 平成17年産なつみかんの都道府県別収穫量割合

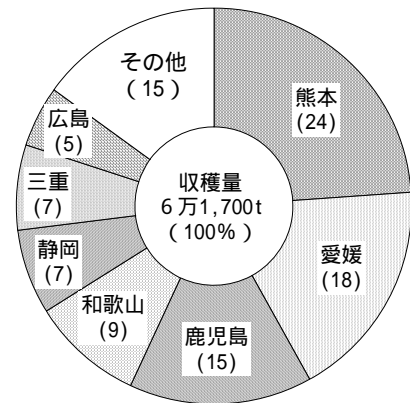


表3 平成17年産なつみかんの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量

品 目	結果樹面積	10a当たり収	収 穫 量	出 荷 量	前 年 産 対 比 (%)			
					結果樹面積	10a当たり収	収 穫 量	出 荷 量
な つ み か ん	ha 3 540	kg 1 740	t 61 700	t 53 600	97	86	84	83

(3) はっさく

ア 結果樹面積

結果樹面積は2,690haで、老木園の廃園等から前年産に比べて80ha(3%)減少した。

イ 10a当たり収量

10a当たり収量は1,910kgで、果実肥大期の少雨により果実の肥大が抑制されたこと等から前年産に比べて9%下回った。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は5万1,400t、出荷量は4万3,500tで、前年産に比べてそれぞれ6,400t(11%)、5,500t(11%)減少した。

都道府県別にみた収穫量割合は、和歌山県が全国の60%、広島県が14%、愛媛県が9%となっており、この3県で全国の約8割を占めている。

図5 はっさくの結果樹面積及び収穫量の推移

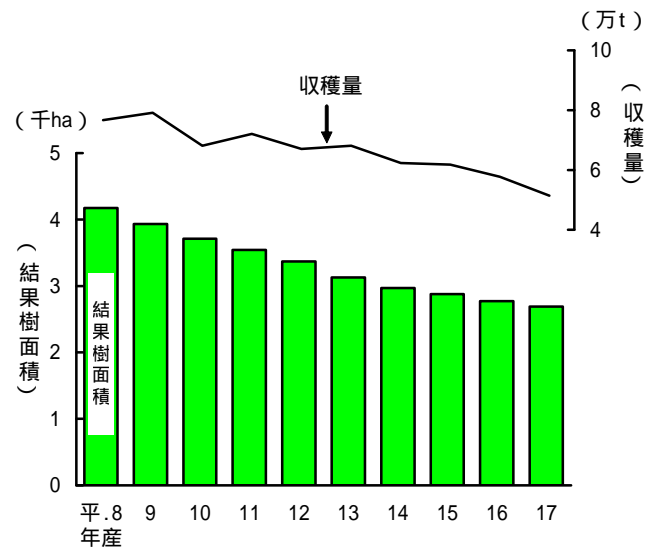


図6 平成17年産はっさくの都道府県別収穫量割合

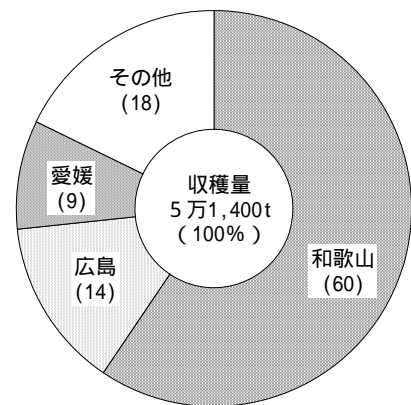


表4 平成17年産はっさくの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量

品目	結果樹面積	10a当たり収量	収穫量	出荷量	前年産対比(%)			
					結果樹面積	10a当たり収量	収穫量	出荷量
はっさく	ha 2 690	kg 1 910	t 51 400	t 43 500	97	91	89	89

(4) いよかん

ア 結果樹面積

結果樹面積は6,830haで、老木園の廃園等から前年産に比べて330ha(5%)減少した。

イ 10a当たり収量

10a当たり収量は1,580kgで、少雨により結果数が少なく、果実の肥大が抑制されたことに加え、愛媛県において収穫期の降雪により果皮障害が発生したこと等から前年産に比べて14%下回った。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は10万8,000t、出荷量は9万6,600tで、前年産に比べてそれぞれ2万3,000t(18%)、2万1,200t(18%)減少した。

都道府県別にみた収穫量割合は、愛媛県が全国の約8割を占めている。

図7 いよかんの結果樹面積及び収穫量の推移

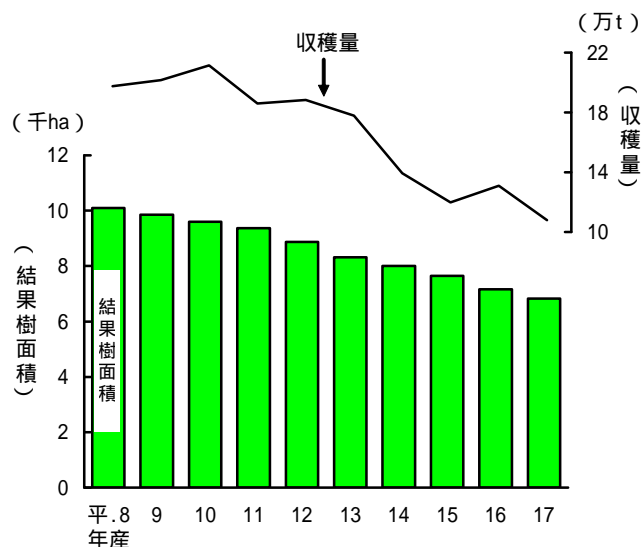


図8 平成17年産いよかんの都道府県別収穫量割合

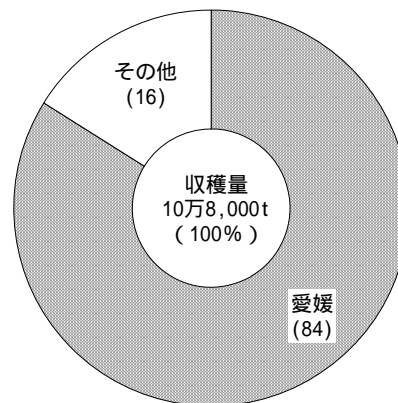


表5 平成17年産いよかんの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量

品目	結果樹面積	10a当たり収量	収穫量	出荷量	前年産対比(%)			
					結果樹面積	10a当たり収量	収穫量	出荷量
いよかん	6 830 ha	1 580 kg	108 000 t	96 600 t	95	86	82	82

(5) ネーブルオレンジ

ア 結果樹面積

結果樹面積は1,050haで、老木園の廃園等から前年産に比べて70ha(6%)減少した。

イ 10a当たり収量

10a当たり収量は1,250kgで、果実肥大期の少雨により果実の肥大が抑制されたこと等から前年産に比べて2%下回った。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は1万3,200t、出荷量は1万900tで、前年産に比べてそれぞれ1,100t(8%)、1,000t(8%)減少した。

都道府県別にみた収穫量割合は、広島県が全国の24%、和歌山県が21%、静岡県が19%となっており、この3県で全国の約6割を占めている。

図9 ネーブルオレンジの結果樹面積及び収穫量の推移

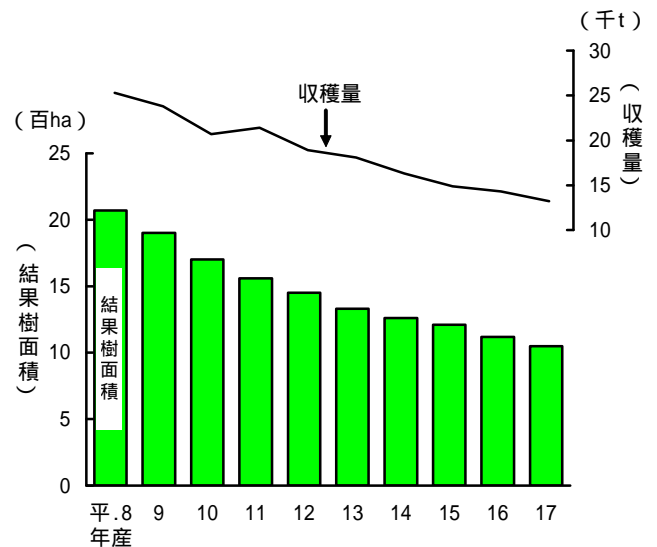


図10 平成17年産ネーブルオレンジの都道府県別収穫量割合

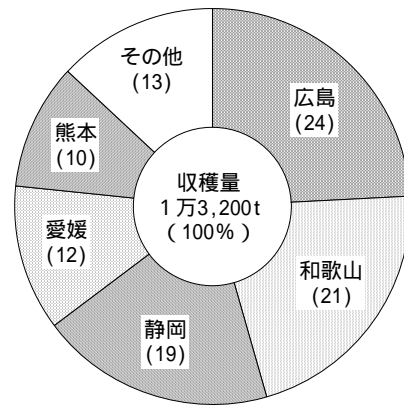


表6 平成17年産ネーブルオレンジの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量

品目	結果樹面積	10a当たり収量	収穫量	出荷量	前年産対比(%)			
					結果樹面積	10a当たり収量	収穫量	出荷量
ネーブルオレンジ	1 050	1 250	13 200	10 900	94	98	92	92

(6) りんご

ア 結果樹面積

結果樹面積は4万800haで、老木園の廃園等から前年産に比べて500ha(1%)減少した。

イ 10a当たり収量

10a当たり収量は2,010kgで、果実の肥大が良好であったこと等から、台風の影響で作柄の悪かった前年産に比べて10%上回った。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は81万8,900t、出荷量は72万4,100tで、前年産に比べてそれぞれ6万4,500t(9%)、5万7,200t(9%)増加した。

都道府県別にみた収穫量割合は、青森県が全国の52%、長野県が22%、岩手県が7%となっており、この3県で全国の約8割を占めている。

図11 りんごの結果樹面積及び収穫量の推移

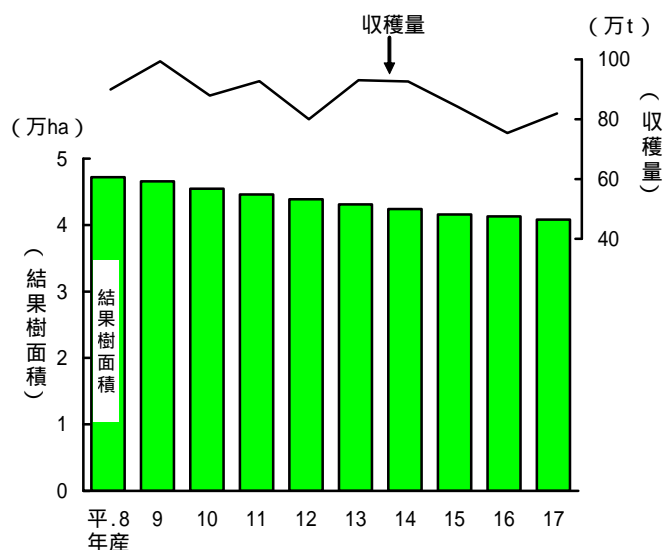


図12 平成17年産りんごの都道府県別収穫量割合

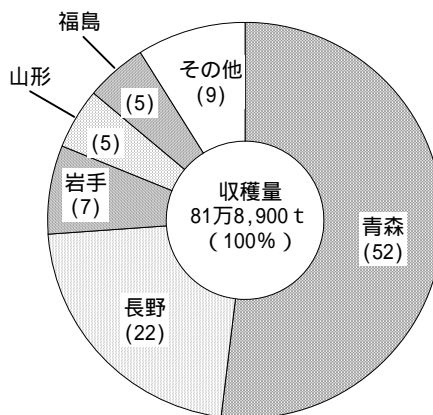


表7 平成17年産りんごの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量

品目・品種	結果樹面積	10a当たり収	収穫量	シェア	出荷量	前年産対比(%)			
						結果樹面積	10a当たり収量	収穫量	出荷量
	ha	kg	t	%	t				
りんご	40 800	2 010	818 900	100	724 100	99	110	109	109
つがる	5 510	1 830	100 900	12	89 200	98	109	107	108
王林	3 730	1 970	73 400	9	66 000	97	123	120	121
ジョナゴールド	3 600	2 040	73 500	9	65 900	99	98	97	97
ふじ	21 000	2 160	453 200	55	398 600	100	110	109	108
陸奥	879	1 780	15 700	2	13 700	93	109	102	102
その他	6 150	1 660	102 300	12	90 600	100	111	111	111

(7) 日本なし

ア 結果樹面積

結果樹面積は1万5,200haで、老木園の廃園があったこと等から前年産に比べて300ha(2%)減少した。

イ 10a当たり収量

10a当たり収量は2,380kgで、開花期の天候に恵まれ、結果数が多かったこと等から、作柄の悪かった前年産に比べて13%上回った。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は36万2,400t、出荷量は33万3,000tで、前年産に比べてそれぞれ3万4,300t(10%)、3万2,200t(11%)増加した。

都道府県別にみた収穫量割合は、千葉県及び茨城県が全国の11%、鳥取県及び福島県が8%、栃木県及び長野県が7%となっており、この6県で全国の約5割を占めている。

図13 日本なしの結果樹面積及び収穫量の推移

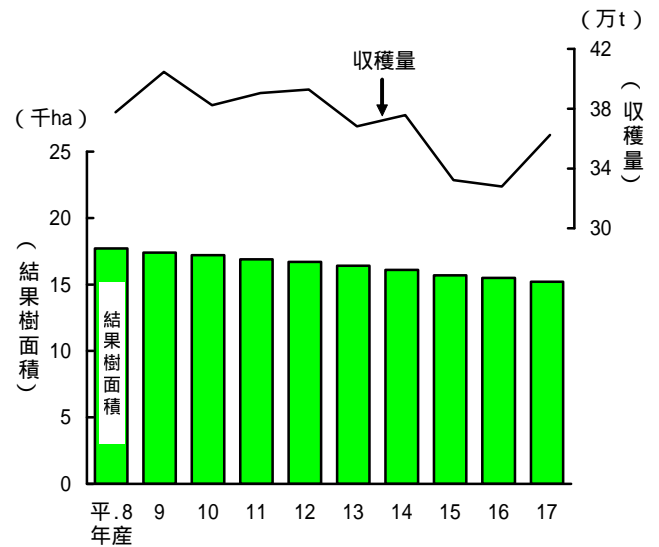


図14 平成17年産日本なしの都道府県別収穫量割合

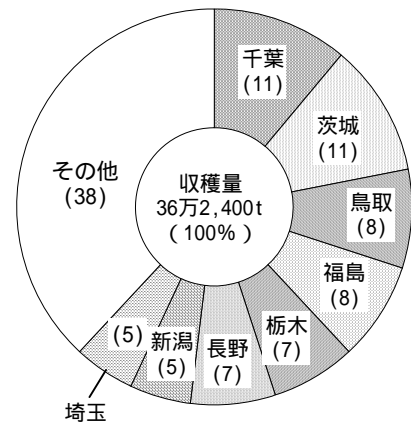


表8 平成17年産日本なしの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量

品目・品種	結果樹面積 ha	10a当たり 収量 kg	収穫量 t	シェア %	出荷量 t	前年産対比(%)			
						結果樹 面積	10a当たり 収量	収穫量	出荷量
日本なし	15 200	2 380	362 400	100	333 000	98	113	110	111
幸水	6 020	2 160	129 600	36	120 700	98	110	107	107
豊水	3 910	2 740	107 100	30	99 000	99	110	109	109
二十世紀	2 070	2 340	48 400	13	43 800	95	111	105	106
新高	1 350	2 780	37 400	10	34 500	99	128	126	128
その他	1 890	2 110	39 900	11	35 100	99	121	121	123

(8) 西洋なし

ア 結果樹面積

結果樹面積は1,760haで、老木園の廃園があったものの、新植や改植したものが結果樹齢に達したこと等から前年産に比べて30ha(2%)増加した。

イ 10a当たり収量

10a当たり収量は1,830kgで、開花期の天候に恵まれ受精が良好で、結果数が多かったこと等から、作柄の悪かった前年産に比べて33%上回った。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は3万2,300t、出荷量は2万8,500tで、前年産に比べてそれぞれ8,400t(35%)、7,700t(37%)増加した。

都道府県別にみた収穫量割合は、山形県が全国の62%、長野県が10%、青森県が6%となっており、この3県で全国の約8割を占めている。

図15 西洋なしの結果樹面積及び収穫量の推移

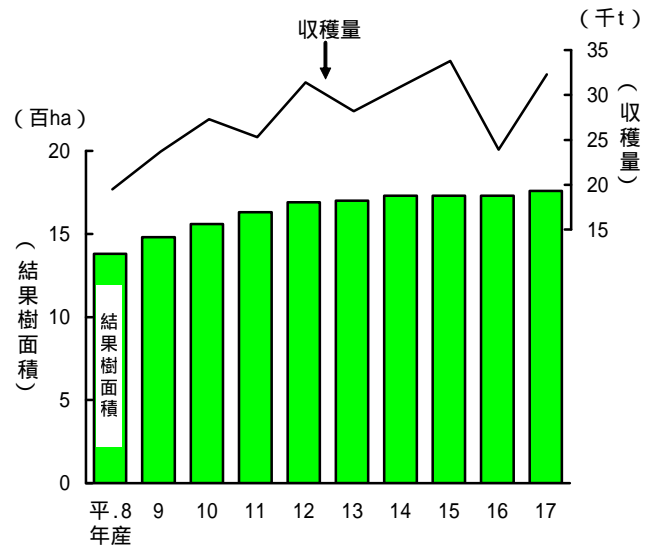


図16 平成17年産西洋なしの都道府県別収穫量割合

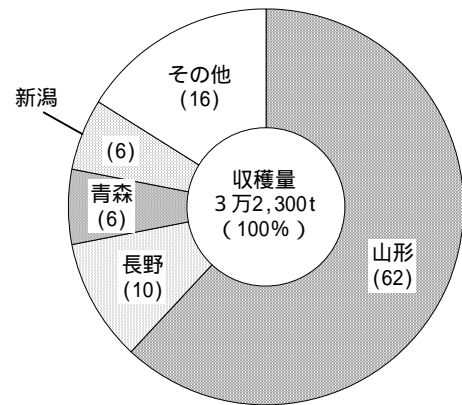


表9 平成17年産西洋なしの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量

品目・品種	結果樹面積	10a当たり収量	収穫量	シェア	出荷量	前年産対比(%)			
						結果樹面積	10a当たり収量	収穫量	出荷量
	ha	kg	t	%	t				
西洋なし	1760	1830	32300	100	28500	102	133	135	137
ラ・フランス	1130	1990	22600	70	20100	100	134	135	137
パートレット	151	1360	2060	6	1800	98	114	113	113
マックス・レッド・パートレット	21	1720	362	1	342	100	124	124	123
その他	456	1590	7270	23	6240	106	135	143	146

(9) かき

ア 結果樹面積

結果樹面積は2万3,700haで、前年産並みとなった。

イ 10a当たり収量

10a当たり収量は1,210kgで、開花期の天候に恵まれ受精が良好で、結果数が多かったこと等から、作柄の悪かった前年産に比べて24%上回った。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は28万5,900t、出荷量は23万800tで、前年産に比べてそれぞれ5万3,500t(23%)、4万5,900t(25%)増加した。

都道府県別にみた収穫量割合は、和歌山県が全国の22%、奈良県が10%、福岡県が9%、岐阜県が7%となっており、この4県で全国の約5割を占めている。

図17 かきの結果樹面積及び収穫量の推移

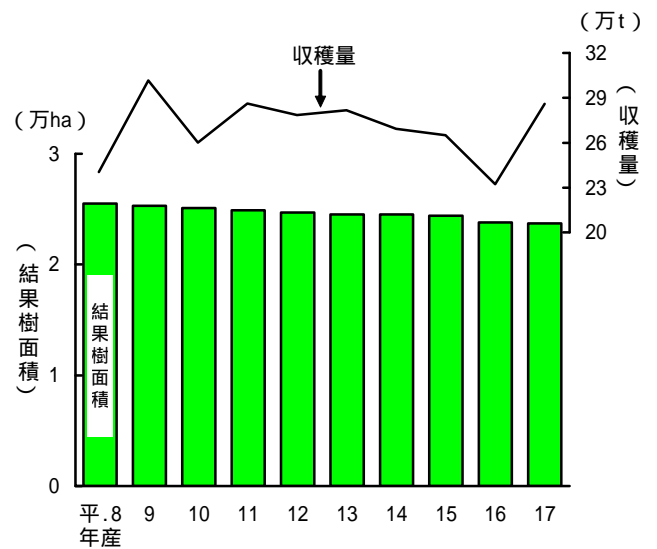


図18 平成17年産かきの都道府県別収穫量割合

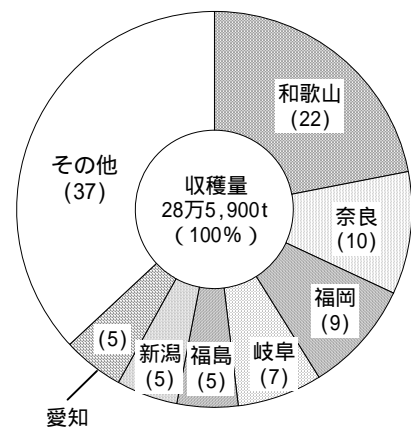


表10 平成17年産かきの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量

品目・品種	結果樹面積	10a当たり収	収穫量	シェア	出荷量	前年産対比(%)			
						結果樹面積	10a当たり収量	収穫量	出荷量
かき	23 700	1 210	285 900	100	230 800	100	124	123	125
富有	8 120	1 140	92 600	32	73 700	99	133	132	133
次郎	1 820	1 120	20 300	7	14 600	100	118	117	128
西村早生	780	1 020	7 980	3	6 620	98	112	110	110
その他甘がき	1 830	695	12 700	4	8 030	101	117	118	118
平核無	3 030	1 480	44 700	16	38 900	98	129	126	128
刀根早生	2 560	2 160	55 100	19	50 300	100	117	116	117
その他渋がき	5 530	948	52 400	18	38 700	100	119	120	121

(10) びわ

ア 結果樹面積

結果樹面積は1,890haで、老木園の廃園があったこと等から前年産に比べて50ha(3%)減少した。

イ 10a当たり収量

10a当たり収量は356kgで、昨年の台風の影響による樹勢の低下や1月以降の低温の影響により結果数が少なかったことから、開花期前の日照不足により作柄の悪かった前年産に比べて7%上回るにとどまった。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は6,730t、出荷量は5,380tで、前年産に比べてそれぞれ260t(4%)、300t(6%)増加した。

都道府県別にみた収穫量割合は、長崎県が全国の33%、千葉県が10%、鹿児島県が9%となっており、この3県で全国の約5割を占めている。

図19 びわの結果樹面積及び収穫量の推移

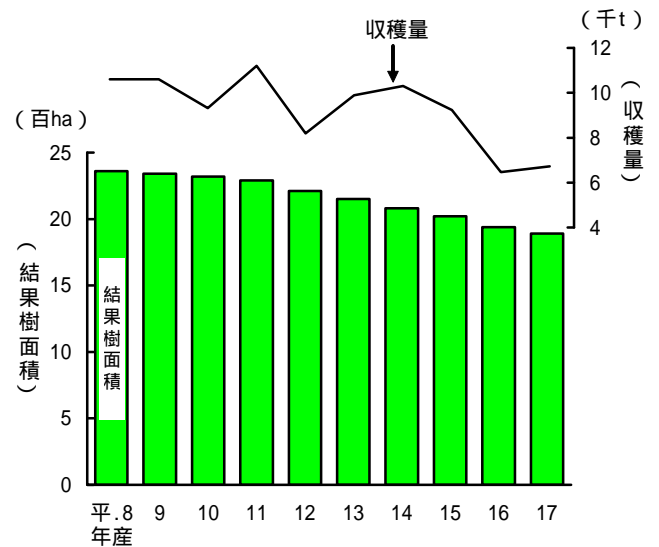


図20 平成17年産びわの都道府県別収穫量割合

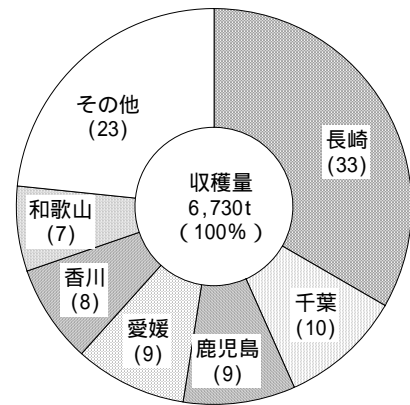


表11 平成17年産びわの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量

品 目	結果樹面積	10a当たり収量	収 穫 量	出 荷 量	前 年 産 対 比 (%)			
					結果樹面積	10a当たり収量	収 穫 量	出 荷 量
び わ	ha	kg	t	t	97	107	104	106
	1 890	356	6 730	5 380				

(11) もも

ア 結果樹面積

結果樹面積は1万300haで、老木園の廃園があったものの、新植や改植したものが結果樹齢に達したこと等から前年産並みとなった。

イ 10a当たり収量

10a当たり収量は1,690kgで、果実肥大期の適雨により果実の肥大が良好であったことから、作柄の悪かった前年産に比べて15%上回った。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は17万4,000t、出荷量は16万400tで、前年産に比べてそれぞれ2万2,100t(15%)、2万900t(15%)増加した。

都道府県別にみた収穫量割合は、山梨県が全国の35%、福島県が19%、長野県が14%となっており、この3県で全国の約7割を占めている。

図21 ももの結果樹面積及び収穫量の推移

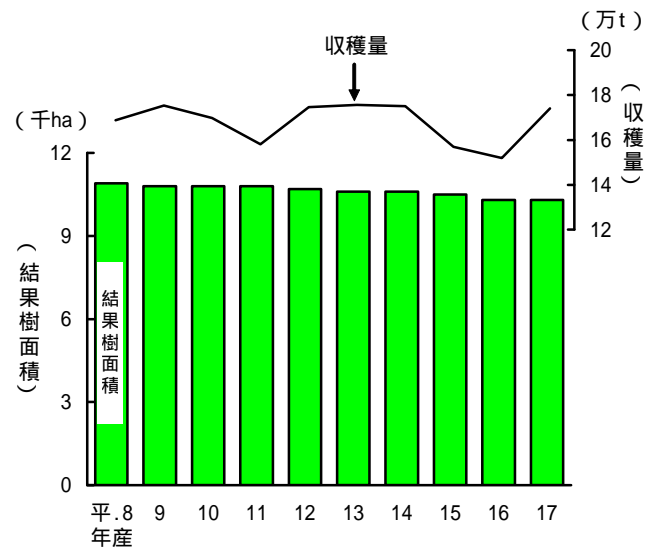


図22 平成17年産ももの都道府県別収穫量割合

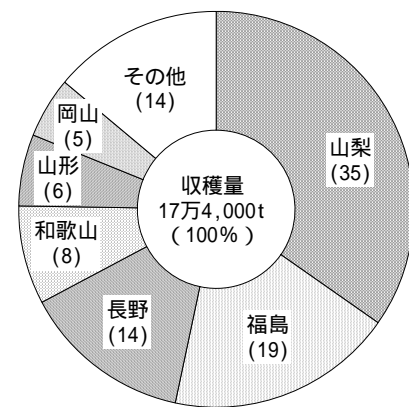


表12 平成17年産ももの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量

品目・品種	結果樹面積 ha	10a当たり 収量 kg	収穫量 t	シェア %	出荷量 t	前年産対比(%)			
						結果樹 面積	10a当たり 収量	収穫量	出荷量
もも	10 300	1 690	174 000	100	160 400	100	115	115	115
白鳳	1 800	1 790	32 100	18	29 800	101	120	121	120
日川白鳳	983	1 340	13 100	8	12 200	103	113	116	115
川中島白鳳	1 150	2 000	23 000	13	21 000	100	114	114	114
浅間白鳳	469	1 850	8 660	5	8 140	99	116	115	116
あかつき	1 420	1 840	26 100	15	23 900	100	112	112	113
その他	4 480	1 590	71 000	41	65 200	99	114	113	113

(12) すもも

ア 結果樹面積

結果樹面積は3,130haで、前年産並みとなった。

イ 10a当たり収量

10a当たり収量は857kgで、主産地の山梨県、長野県等で果実肥大期の適雨により果実の肥大が良好であったものの、開花期の低温・日照不足により結果数が少なくなった地域や、前年の台風の影響により樹勢が低下した地域があったこと等から前年産に比べて1%下回った。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は2万6,800t、出荷量は2万3,300tで、前年産に比べてそれぞれ300t(1%)、200t(1%)減少した。

都道府県別にみた収穫量割合は、山梨県が全国の35%、和歌山県が15%、長野県が13%となっており、この3県で全国の約6割を占めている。

図23 すももの結果樹面積及び収穫量の推移

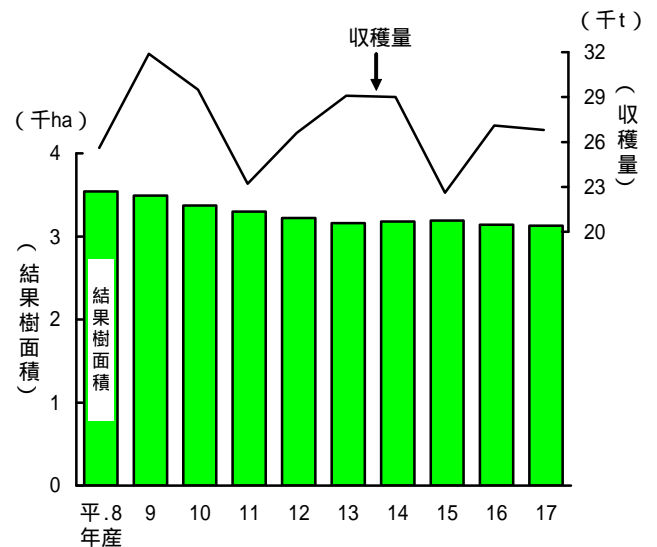


図24 平成17年産すももの都道府県別収穫量割合

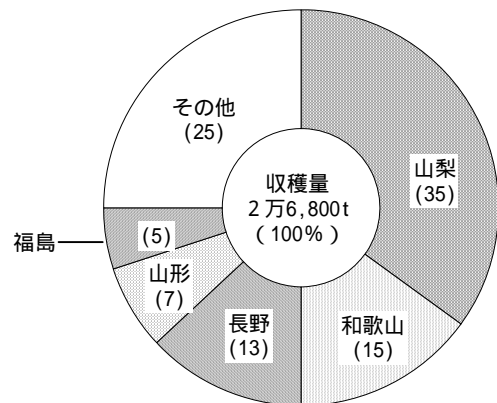


表13 平成17年産すももの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量

品 目	結果樹面積	10a当たり収	収 穫 量	出 荷 量	前 年 産 対 比 (%)			
					結果樹面積	10a当たり収量	収 穫 量	出 荷 量
す も も	ha 3 130	kg 857	t 26 800	t 23 300	100	99	99	99

(13) おうとう

ア 結果樹面積

結果樹面積は4,380haで、老木園の廃園があったものの、新植や改植したものが結果樹齢に達したこと等から前年産に比べて200ha（5%）増加した。

イ 10a当たり収量

10a当たり収量は436kgで、6月の少雨により果実の肥大が抑制されたものの、結果数が多かったこと等から、受精不良により作柄の悪かった前年産に比べて11%上回った。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は1万9,100t、出荷量は1万6,900tで、前年産に比べてそれぞれ2,700t（16%）、2,500t（17%）増加した。

都道府県別にみた収穫量割合は、山形県が全国の69%、青森県が8%となっており、この2県で全国の約8割を占めている。

図25 おうとうの結果樹面積及び収穫量の推移

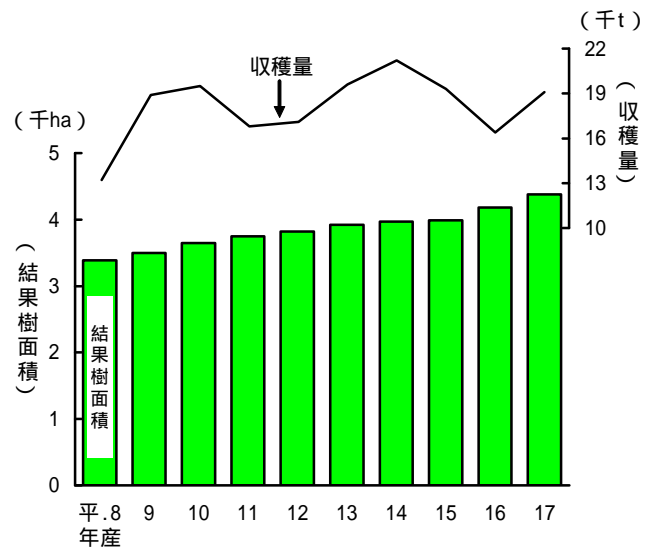


図26 平成17年産おうとうの都道府県別収穫量割合

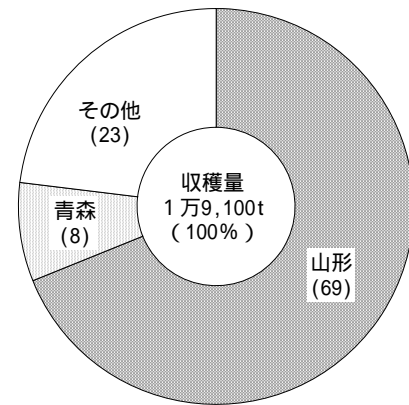


表14 平成17年産おうとうの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量

品目・品種	結果樹面積	10a当たり収量	収穫量	シェア	出荷量	前年産対比(%)			
						結果樹面積	10a当たり収量	収穫量	出荷量
	ha	kg	t	%	t				
おうとう	4 380	436	19 100	100	16 900	105	111	116	117
佐藤錦	2 850	484	13 800	72	12 200	103	117	120	120
高砂	212	453	960	5	882	93	102	94	94
その他	1 310	329	4 320	23	3 800	111	100	111	113

(14) うめ

ア 結果樹面積

結果樹面積は1万7,800haで、老木園の廃園があったものの、新植や改植したものが結果樹齢に達しこと等から前年産に比べて500ha(3%)増加した。

イ 10a当たり収量

10a当たり収量は690kgで、果実肥大期の降雨により果実の肥大が良好だったこと等から前年産に比べて5%上回った。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は12万3,000t、出荷量は10万5,100tで、前年産に比べてそれぞれ9,400t(8%)、9,500t(10%)増加した。

都道府県別にみた収穫量割合は、和歌山県が全国の56%、群馬県が7%となっており、この2県で全国の約6割を占めている。

図27 うめの結果樹面積及び収穫量の推移

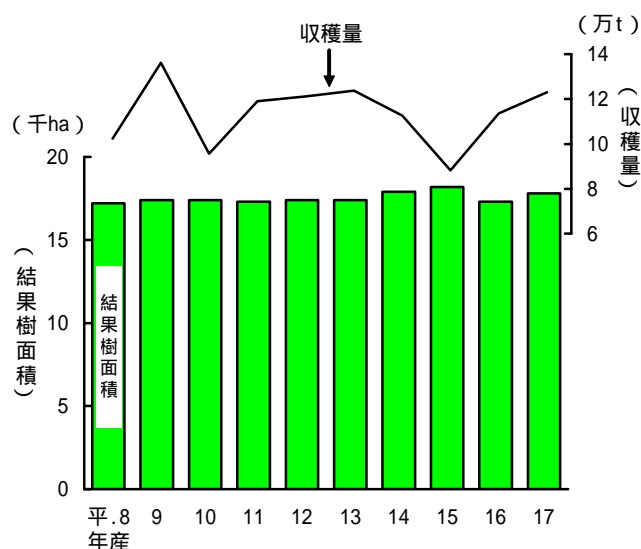


図28 平成17年産うめの都道府県別収穫量割合

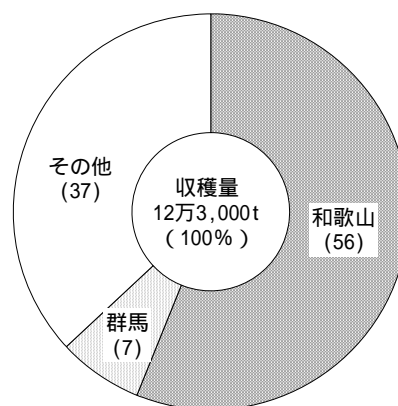


表15 平成17年産うめの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量

品目・品種	結果樹面積	10a当たり収量	収穫量	シェア	出荷量	前年産対比(%)			
						結果樹面積	10a当たり収量	収穫量	出荷量
うめ	17 800	690	123 000	100	105 100	103	105	108	110
南高	5 530	1 270	70 500	57	66 500	107	109	116	118
白加賀	3 630	418	15 200	12	11 200	98	101	99	101
その他	8 660	432	37 400	30	27 400	103	96	99	98

(15) ぶどう

ア 結果樹面積

結果樹面積は1万9,000haで、老木園の廃園があったこと等から前年産に比べて200ha(1%)減少した。

イ 10a当たり収量

10a当たり収量は1,160kgで、開花期の天候に恵まれ、着房数・着粒数が多かったこと等から、作柄の悪かった前年産に比べて8%上回った。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は21万9,900t、出荷量は20万800tで、前年産に比べてそれぞれ1万4,300t(7%)、1万3,300t(7%)増加した。

都道府県別にみた収穫量割合は、山梨県が全国の25%、長野県が15%、山形県が10%となっており、この3県で全国の約5割を占めている。

図29 ぶどうの結果樹面積及び収穫量の推移

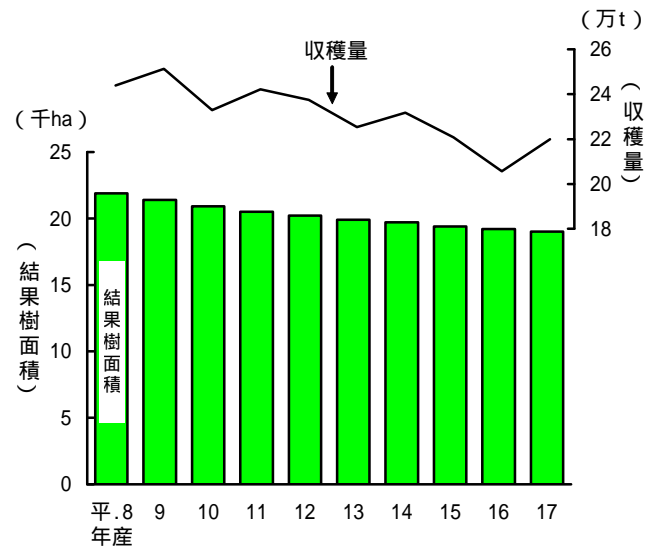


図30 平成17年産ぶどうの都道府県別収穫量割合

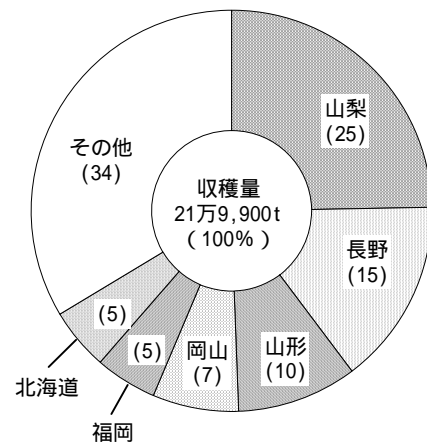


表16 平成17年産ぶどうの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量

品目・品種	結果樹面積	10a当たり収	収穫量	前年産対比(%)					
				シェア	出荷量	結果樹面積	10a当たり収量	収穫量	出荷量
ぶどう	ha	kg	t	%	t				
ぶどう	19 000	1 160	219 900	100	200 800	99	108	107	107
デラウェア	3 820	1 090	41 500	19	37 800	98	103	100	100
キャンベルアーリー	1 060	1 170	12 400	6	10 900	97	111	108	109
マスカットベリーA	1 010	1 240	12 600	6	11 400	96	107	104	103
甲州	489	1 500	7 310	3	6 600	96	101	96	96
巨峰	6 440	1 140	73 600	33	67 900	99	113	113	113
甲斐路	327	1 650	5 410	2	5 050	97	110	107	108
ピオーネ	1 760	1 240	21 800	10	19 900	104	103	107	107
その他	4 120	1 100	45 300	21	41 200	99	108	107	108

(16) くり

ア 結果樹面積

結果樹面積は2万3,800haで、老木園の廃園があったこと等から前年産に比べて500ha(2%)減少した。

イ 10a当たり収量

10a当たり収量は92kgで、九州地域で前年の台風の影響による樹勢の低下により、結きゅう(稔)数が少なかったことや、台風第14号の影響による落きゅう(稔)が多かったこと等から、作柄の悪かった前年産をさらに7%下回った。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は2万1,800t、出荷量は1万4,800tで、前年産に比べてそれぞれ2,200t(9%)、1,800t(11%)減少した。

都道府県別にみた収穫量割合は、茨城県が全国の28%、熊本県及び愛媛県が8%、岐阜県が5%となっており、この4県で全国の約5割を占めている。

図31 くりの結果樹面積及び収穫量の推移

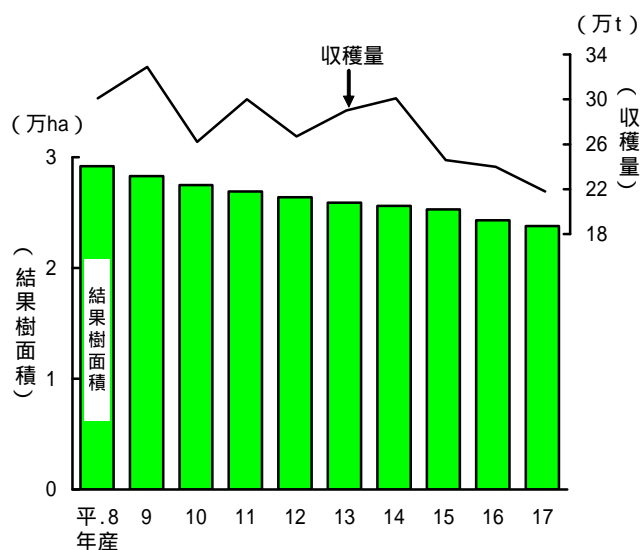


図32 平成17年産くりの都道府県別収穫量割合

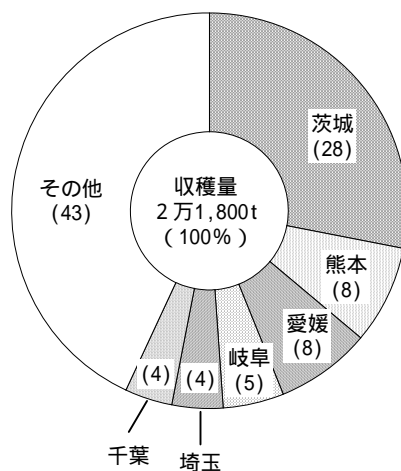


表17 平成17年産くりの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量

品目	結果樹面積	10a当たり収量	収穫量	出荷量	前年産対比(%)			
					結果樹面積	10a当たり収量	収穫量	出荷量
くり	23 800 ha	92 kg	21 800 t	14 800 t	98	93	91	89

(17) パインアップル (沖縄県)

図33 パインアップルの収穫面積及び収穫量の推移

ア 収穫面積

収穫面積は443haで、前年産並みとなった。

イ 10a当たり収量

10a当たり収量は2,350kgで、3月の低温及び7月から9月の少雨により肥大が抑制されたことから前年産に比べて9%下回った。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は1万400t、出荷量は1万100tで、前年産に比べてそれぞれ1,100t(10%)、1,000t(9%)減少した。

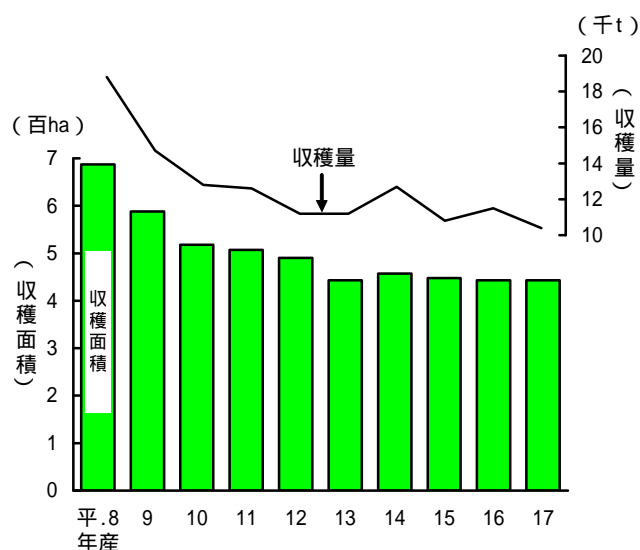


表18 平成17年産パインアップルの収穫面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量

品 目	収穫面積	10a当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	前 年 産 対 比 (%)			
					収 穫 面 積	10a当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量
パインアップル	ha 443	kg 2 350	t 10 400	t 10 100	100	91	90	91

(18) キウイフルーツ

ア 結果樹面積

結果樹面積は2,560haで、老木園の廃園等から前年産に比べて60ha(2%)減少した。

イ 10a当たり収量

10a当たり収量は1,420kgで、開花期の天候に恵まれ結果数が多かったこと等から、相次ぐ台風の影響で作柄の悪かった前年産に比べて28%上回った。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は3万6,400t、出荷量は3万tで、前年産に比べてそれぞれ7,300t(25%)、6,600t(28%)増加した。

都道府県別にみた収穫量割合は、愛媛県が全国の23%、福岡県が18%、和歌山県が9%となっており、この3県で全国の約5割を占めている。

図34 キウイフルーツの結果樹面積及び収穫量の推移

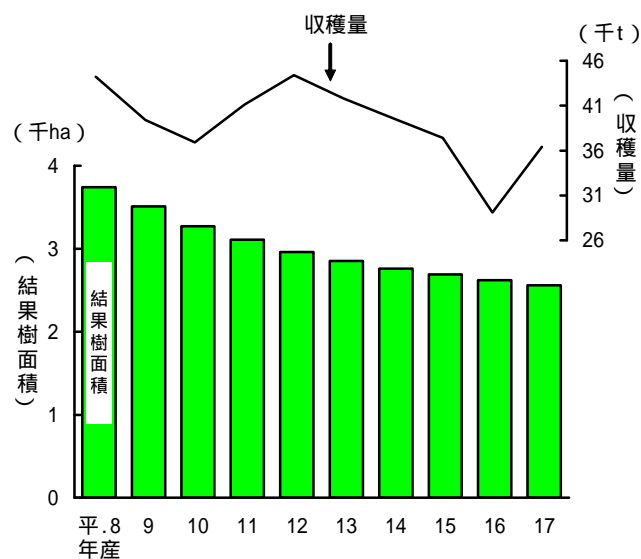


図35 平成17年産キウイフルーツの都道府県別収穫量割合

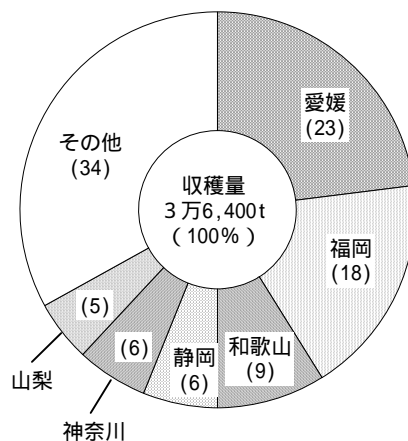


表19 平成17年産キウイフルーツの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量

品 目	結果樹面積	10a当たり収量	収 穫 量	出 荷 量	前 年 産 対 比 (%)			
					結果樹面積	10a当たり収量	収 穫 量	出 荷 量
キウイフルーツ	2 560	1 420	36 400	30 000	98	128	125	128